

公共施設等総合管理計画に関する実績等報告書(平成29年度)

(総合政策部 財務課)

■計画の基本情報

計画期間	H 29 ~ H 88 年度
位置付け	本計画は、必要な公共施設等を適切に維持・管理するための基本方針を定めたもので、施設マネジメントの基本計画として位置付けている。また、第2次亀山市総合計画前期基本計画との関連は、基本施策「(2)財産・情報の適正な管理・活用」と深く関わり、②公有財産の効率的・効果的な活用の部分を補完するものである。
目的・概要	公共施設等については、施設の老朽化や更新、維持・管理への財政負担、施設利用需要の変化など、それらへの対策が課題である。本計画は、課題分析を的確に行い、将来費用を試算した上で、利便性や安心・安全に利用できる環境など利用者の視点に立ち、更新や統廃合、長寿命化など総合的な管理を行うものである。
計画の骨格	<p>将来にわたって持続的な行政サービスを維持するため、60年後のあるべき姿を描きながら、公共施設やインフラの計画的な維持管理と施設総量の削減を行うことで、1年あたりの投資的経費を直近5か年の平均である22億7千万円(将来費用の25%削減)に近づけることを目標に取り組む。</p> <p>この目標を達成するため、「維持管理経費の削減と長寿命化の推進」「将来費用の確保」「施設総量の削減」の3つの基本方針と7つの実施方針、17の施設類型ごとの基本方針を基に実行する。</p>

■ 成果指標

成果指標名		単位	現状値	目標値	実績値 (H29)
1	将来費用の削減(60年間で25%)	億円	1823.1	1362.0	—
2					
3					
4					
5					

■ 計画の実績等

取組実績	<p>本計画に掲げる「60年間で将来費用を25%削減する」という目標達成に向け、建物(ハコモノ)において実行計画となる施設類型ごとの個別施設計画の策定に着手した。計画の期間や策定方法など基本的な事項について、部長級で構成する行財政改革管理委員会において確認し、施設類型ごとに将来費用の削減に向けた取組み、今後の施設の在り方を整理するため、関係部署に個別ヒアリングを行った。</p> <p>また、第2次亀山市行財政改革大綱や長寿命化計画など、再編や統廃合など先行して取り組んでいる施設についても、個別ヒアリングの中で本計画と整合しているか確認を行った。</p>
成果	<p>個別施設計画を策定している段階であるため、個々の施設の方向性は決定していないが、策定に向けて行財政改革管理委員会の開催や関係部署へのヒアリングなど協議を重ねたことで、第2次亀山市行財政改革大綱や長寿命化計画などで既に取り組んでいる施設について、本計画と整合しているかを確認しながら進めることができた。</p>
総合計画推進への寄与度	<p>本計画の基本方針に沿って個別施設計画の策定を進めることで、効率的・効果的な施設の維持・管理に向けての検討を行う機会が増え、認定子ども園整備による幼稚園・保育所の再編や市営住宅の統廃合など具体的な検討が行われた。</p>

反省点・課題	<p>総務省が要請する個別施設計画の策定期限は平成32年度末までであるが、同計画が実行計画となるため、庁内での意思統一を図り、出来る限り早い段階で策定する必要がある。</p>
--------	---

今後の方向性	<p>個別施設計画を平成30年度中に策定するとともに、計画の推進にあたっては、行財政改革推進本部において組織横断的な調整機能を発揮しながら取り組んでいく。</p>
--------	---